

課題番号5

基本方針：Ⅱ、Ⅲ	課題名：特定農業振興ゾーンの推進につながる農業生産額向上	
対象：特定農業振興ゾーン（2地区, 85.4ha）等の担い手	計画期間：R6～8	
	事務所名：東部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R7年度末）
<ul style="list-style-type: none"> 「伊那佐東部地区」長期保存冷蔵庫の導入及び利用計画 灌水システム改良計画作成支援 「政始北部地区」長期保存冷蔵庫の実証結果を踏まえた意向調査 ヨモギ栽培支援 有望作目の栽培支援 	導入計画作成検討会 担い手ヒアリング 担い手の意向調査 担い手の生産額増加に繋がる技術等の検索・情報収集 講習会、検討会 巡回指導 講習会 巡回指導	【担い手への新技術の検証および導入による生産額向上】 「伊那佐東部地区」 174,103千円 → 約175,000千円（見込） 「大宇陀政始北部地区」 99,708千円 → 約105,000千円（見込） 【保全管理農地へ導入可能な作目の検索および導入】 ヨモギ作付面積 0.01ha → 0.04a

総合評価（コメント）

A：3名 B：3名

- この地域は農業に参入している有力企業も存在し、販路開拓は比較的安定しているため、このような地域で担い手確保を確実にできるように、引き続き取り組んでいただきたい。
- 農業経営者の農業生産額や所得が向上するよう、ゾーン設定や新技術導入、導入可能な作物の選定など指導普及活動を実施されている。これからも継続した取組みをお願いしたい。
- 新技術導入など考える目標の目処は立ちつつあるが、それらの導入に伴う生産額向上目標の達成はもう少し時間を必要とするか。
収益性の高い新たな作物の導入が今後進むことを期待。
- ヨモギ生産の事は初めて知りましたが、獣害、倒伏、病害虫の課題もあるということで、大和トウキ等生産性、収量性のある品目をもっと幅広く検討する必要があるのではないのでしょうか。
- 部分的に検討した上で、普及活動を継続してほしい。

普及指導計画への反映状況等

- 担い手への新技術の検証および導入による生産額向上
 - ・伊那佐東部地区では、スマート灌水設備の導入の合意が図れたことから、次年度は、生産額の向上につながる適切かつ効果的な設備導入に向けた計画を作成するための支援を行う。
 - ・政始北部地区では、当初計画した長期鮮度保持冷蔵施設を活用した祝だいこんの生産拡大が困難であることから、改めて、他の品目も含めた地域の担い手の経営安定につながる作目と新たな技術の検討・検証を行う。
- 保全管理農地への導入可能な作目の検索および導入
 - ・ヨモギやトウキ葉については、継続して巡回指導を行いつつ、生産上の課題やその解決策を検討し、今後の導入・普及について検討する。
 - ・あわせて、ヨモギやトウキ葉の導入・普及が困難な場合のため、それらに代わる有望作物の検索を引き続き行う。